

滋賀県内企業動向調査 ～18年10-12月期の実績見込みと19年1-3月期の見通し～ 景況感は6四半期ぶりのマイナス

㈱滋賀銀行のシンクタンクである ㈱しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 中川 浩）では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2018年10-12月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2018年10-12月期）
- ・調査時期：2018年11月9日～30日
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業916社
- ・回答数：262社（有効回答率29%）うち製造業115社、非製造業147社
- ・分析手法：DI（ディフュージョン・インデックス）
＝「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、
「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数を採用

【調査結果の要旨】

1. 現在の業況判断（P2～4）

- ・今回調査（18年10-12月期）での自社の業況判断DIは-1で、前回（7-9月期）の+9から自然災害の影響等により10ポイント低下し、17年4-6月期（-3）以来、6四半期ぶりのマイナス水準となった。
- ・製造業は、前回の+11から8ポイント低下し+3となるものの、7四半期連続でプラス水準をなんとか維持した。木材・木製品はプラス水準からマイナス水準に低下、窯業・土石、精密機械、その他の製造業はプラス水準からもちあいに低下した。化学、金属製品、電気機械はプラス幅が縮小もプラス水準を維持した。一方、輸送用機械はマイナス水準からプラス水準に回復、一般機械はプラス幅が拡大した。食料品、繊維は低迷が続いている。
- ・非製造業は、前回の+8から13ポイントの大幅低下で-5となり、5四半期ぶりにマイナス水準となった。サービスはプラス水準からマイナス水準に低下、不動産はプラス水準からもちあいに低下した。小売はマイナス幅が拡大した。一方、卸売はマイナス水準からもちあいに回復、運輸・通信はもちあいからプラス水準に回復した。建設、その他の非製造業はプラス水準を維持した。
- ・3カ月後（19年1-3月期）は、製造業が4ポイント低下の-1に、非製造業は8ポイント上昇の+3、全体では2ポイント上昇の+1にとどまり、回復感に乏しい見通しとなった。

2. その他の判断項目（P4～7）

- ・売上DI（前回：+8→今回：0）は前回から8ポイント低下し、5四半期ぶりにもちあいに低下した。
- ・経常利益DI（0→-8）は、もちあいからマイナス水準に低下した。
- ・製・商品の在庫DI（+5→+7）は2ポイント上昇。
- ・販売価格DI（+5→+5）は前回と同水準。
- ・仕入価格DI（+35→+39）は4ポイント上昇。
- ・生産・営業用設備DI（-8→-10）は2ポイント低下し、10四半期連続でマイナス水準。
- ・雇用人員DI（-37→-40）は、前回から3ポイント低下、26四半期連続のマイナス水準。

3. 設備投資の実施状況（P8・9）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は50%で、前回（48%）から2ポイント上昇した。
- ・主な内容（複数回答）は、「生産・営業用設備の更新」（38%）が最多。次いで「生産・営業用設備の新規導入」「車両の購入」（ともに30%）、「OA機器の購入」（24%）と続いた。

【お問い合わせ先】 ㈱しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 北村（TEL：077-523-2245）

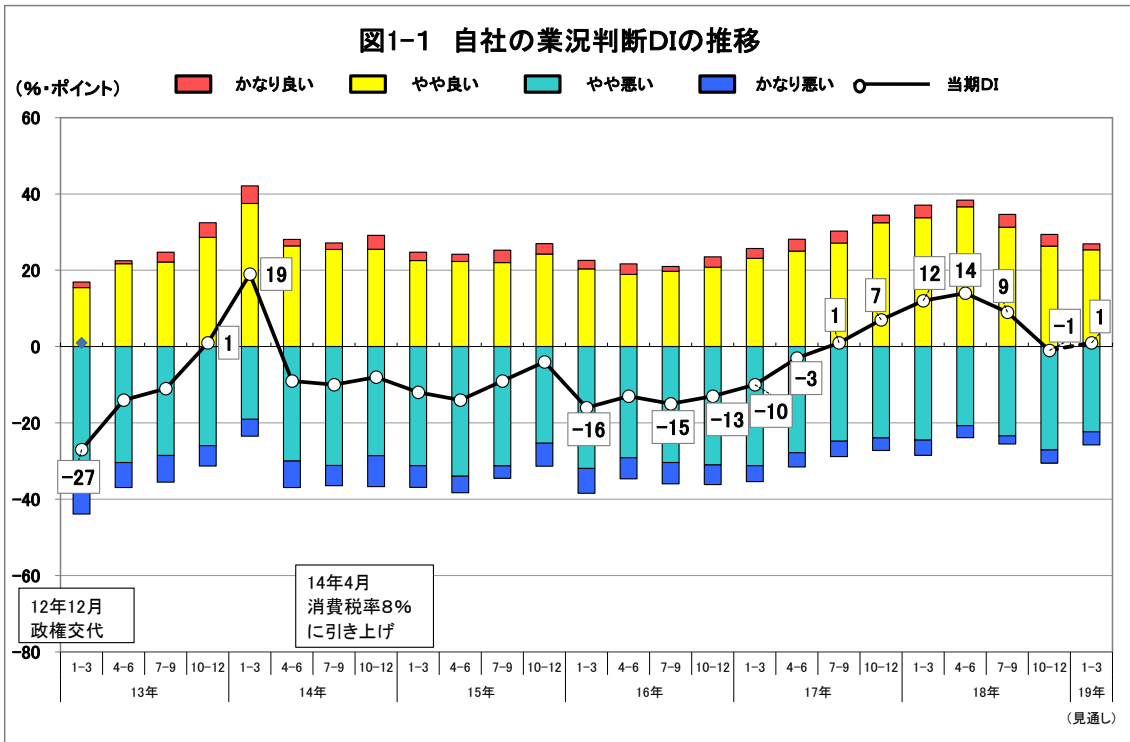
1. 自社の業況判断

(1) 自社の業況判断DI…製造業は7四半期連続のプラス水準を維持も、非製造業は5四半期ぶりにマイナス水準に低下

1. 全体の動向 (図 1-1)

今回の調査(18年10-12月期)での自社の業況判断DIは前回(7-9月期)の+9から自然災害の影響等で10ポイントの大幅低下で-1となり、17年4-6月期(-3)以来、6四半期ぶりにマイナス水準に低下した。

3カ月後(19年1-3月期)は2ポイント上昇の+1にとどまり、回復感に乏しい見通しとなった。



2. 業種別の動向 (図 1-2、表 1)

業種別にみると、製造業は、前回の+11から8ポイント低下の+3となり、プラス幅は縮小するものの、7四半期連続でなんとかプラス水準を維持した。木材・木製品(+17→-50)は、プラス水準からマイナス水準に低下、窯業・土石(+13→0)、精密機械(+50→0)、その他の製造業(+22→0)はプラス水準からもちあいに低下した。化学(+38→+13)、金属製品(+20→+11)、電気機械(+30→+13)はプラス幅が縮小もプラス水準を維持した。輸送用機械(-13→+40)はマイナス水準からプラス水準へ回復、一般機械(+13→+67)はプラス幅が拡大した。繊維(-38→-38)、食料品(-31→-30)は低迷が続いている。

3カ月後の製造業全体は、4ポイント低下の-1とマイナス水準になる見通しである。

非製造業は、前回の+8から13ポイントの大幅低下で-5となり、5四半期ぶりにマイナス水準となった。サービス(+11→-21)はプラス水準からマイナス水準に低下、不動産(+18→0)はプラス水準からもちあいに低下、小売(-23→-31)はマイナス幅が拡大した。一方、卸売(-3→0)はマイナス水準からもちあいに回復、運輸・通信(0→+40)はもちあいからプラス水準に回復、建設(+21→+2)、その他の非製造業(+33→+33)はプラス水準を維持した。

3カ月後は、現在から8ポイント上昇し+3と、再びプラス水準に回復する見通しである。

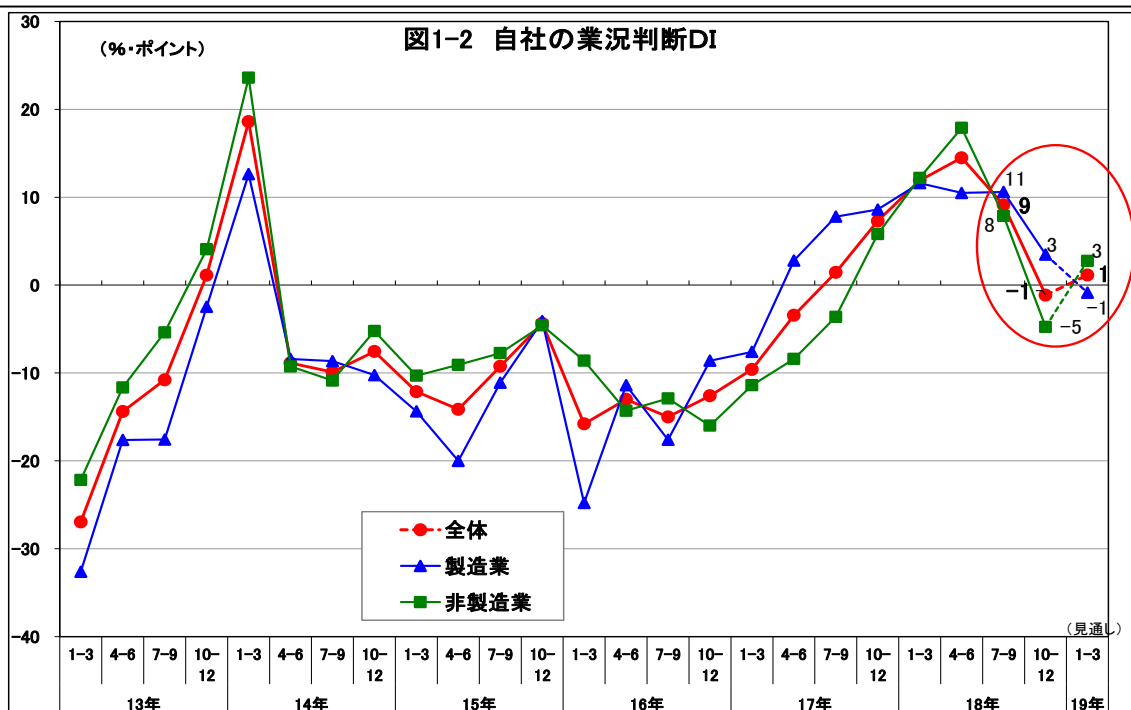


表1 自社の業況判断DI(業種別)

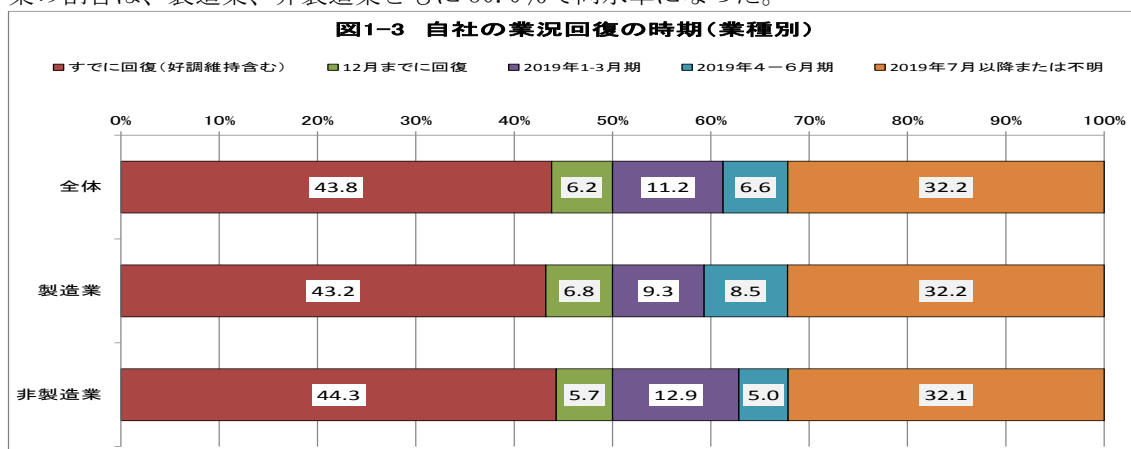
業種(※1)	今回の回答社数	18年 7-9月期 前回	18年 10-12月期 今回(※2)	19年 1-3月期 見通し
全体	262	9	-1 (14)	1
製造業	115	11	3 (14)	-1
繊維	13	-38	-38 (-25)	-15
木材・木製品	4	17	-50 (33)	-50
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	8	38	13 (-25)	13
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	5	13	0 (43)	20
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	10	-31	-30 (-13)	-30
金属製品	18	20	11 (16)	11
一般機械	12	13	67 (20)	25
電気機械	8	30	13 (10)	13
輸送用機械	5	-13	40 (38)	40
精密機械	4	50	0 (25)	-25
その他の製造業	23	22	0 (31)	-4
非製造業	147	8	-5 (14)	3
建設	41	21	2 (27)	8
不動産	10	18	0 (18)	-10
卸売	21	-3	0 (3)	14
小売	26	-23	-31 (-18)	-19
運輸・通信	10	0	40 (36)	55
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	29	11	-21 (15)	-22
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	9	33	33 (22)	44

(※1) 回答数が3社以下の業種は非表示(×)

(※2) ()内の数値は前回調査時点での10-12月期の見通し

(2) 自社の業況回復の時期…「すでに回復」(12月までに回復を含む)は5割(図1-3)

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復(好調維持を含む)」した企業の割合は43.8%となり、「12月まで」(6.2%)を合わせると50.0%となり、前回(50.2%)とほぼ同水準になった。一方、半年以上先の「19年7月以降(不明を含む)」は3割強(32.2%)で、前回(27.9%)より増加した。業種別では、「すでに回復(12月までに回復を含む)」した企業の割合は、製造業、非製造業ともに50.0%で同水準になった。



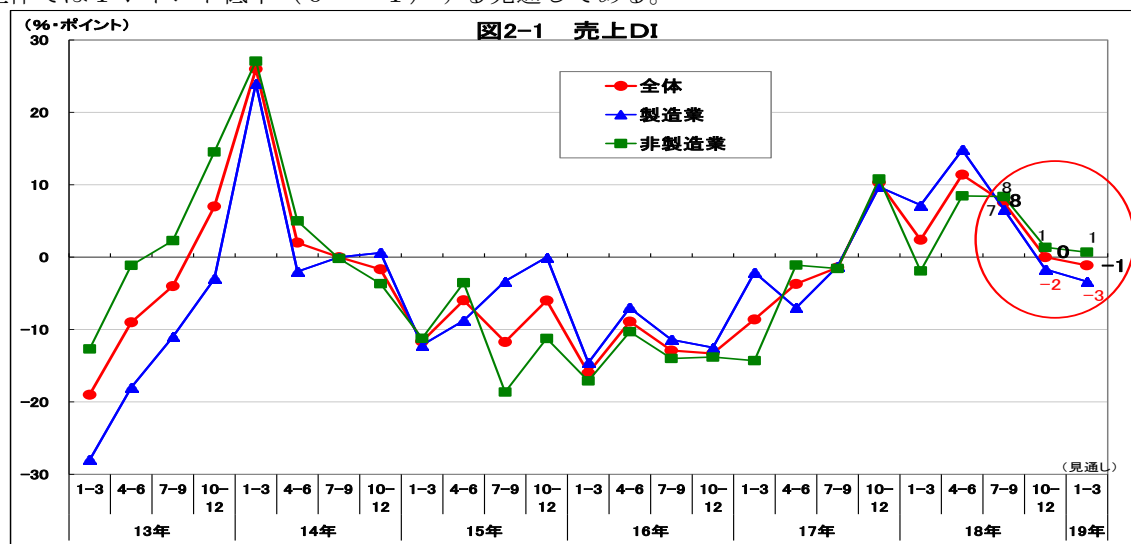
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…5四半期ぶりにもちあいに低下(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は0で、前回の+8から8ポイント低下し、全体では5四半期ぶりにプラス水準(「増加」超過)からもちあいに低下した。

業種別では、製造業は+7から-2に9ポイント低下した。窯業・土石(+13→-20)、精密機械(+25→-25)はプラス水準からマイナス水準に低下、輸送用機械(+25→0)はプラス水準からもちあいに低下、繊維(-24→-57)、食料品(-44→-50)はマイナス幅が拡大した。金属製品(-10→+6)はマイナス水準からプラス水準に上昇、木材・木製品(0→+25)はもちあいからプラス水準に上昇、化学(+38→+13)、その他の製造業(+22→+4)はプラス水準を維持、一般機械(+14→+54)はプラス幅が拡大した。非製造業は+8から+1に7ポイント低下した。小売(+9→-19)はプラス水準からマイナス水準に低下、サービス(+11→0)、その他の非製造業(+22→+0)はプラス水準からもちあいに低下、不動産(0→-10)はもちあいからマイナス水準に低下した。卸売(-3→+14)、運輸・通信(-7→+45)はマイナス水準からプラス水準に回復、建設(+17→+2)はプラス水準を維持した。

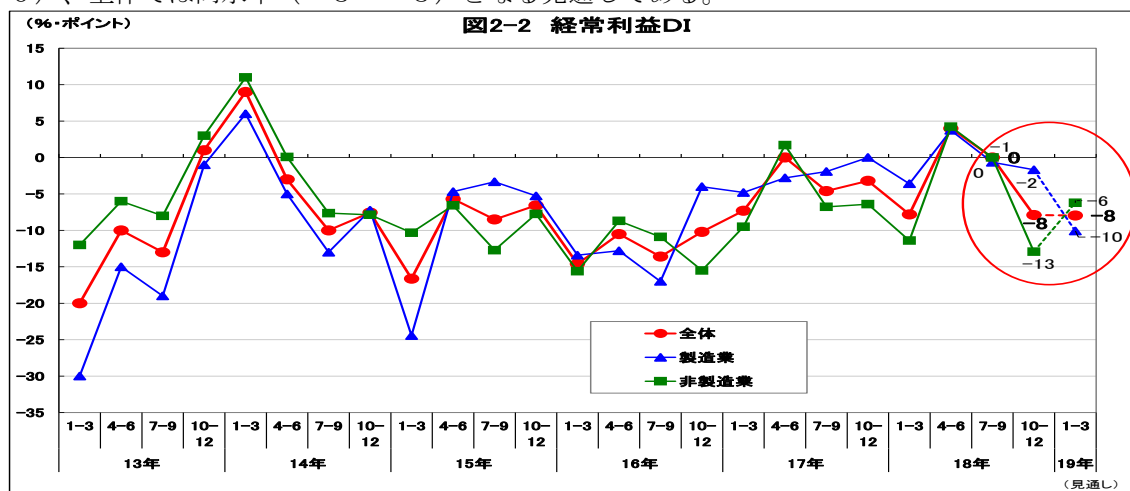
3カ月後は、製造業は1ポイント低下(-2→-3)、非製造業は同水準(+1→+1)、全体では1ポイント低下(0→-1)する見通しである。



(2) 経常利益DI…もちあいからマイナス水準に低下(図2-2)

現在の経常利益DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-8で、前回(0)から8ポイント低下し、もちあいからマイナス水準になった。業種別にみると、製造業(-1→-2)は1ポイント低下した。金属製品(-5→+28)、電気機械(-30→+13)はマイナス水準からプラス水準に上昇、一般機械(+14→+31)はプラス幅が拡大した。化学(+50→+25)はプラス水準を維持も、木材・木製品(+50→0)、精密機械(+25→0)はプラス水準からもちあいに、輸送用機械(+25→-20)、その他の製造業(+16→-8)はプラス水準からマイナス水準に低下した。窯業・土石(-38→-60)、食料品(-19→-30)はマイナス幅が拡大した。非製造業は13ポイントの大幅な低下(0→-13)となり、もちあいからマイナス水準に低下した。卸売(-11→+5)はマイナス水準からプラス水準に回復、運輸・通信(+21→+9)はプラス水準を維持するも、建設(+4→-20)、その他の非製造業(+22→-11)はプラス水準からマイナス水準に低下、小売(-9→-23)、サービス(-3→-17)はマイナス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は8ポイント低下(-2→-10)、非製造業は7ポイント上昇(-13→-6)、全体では同水準(-8→-8)となる見通しである。

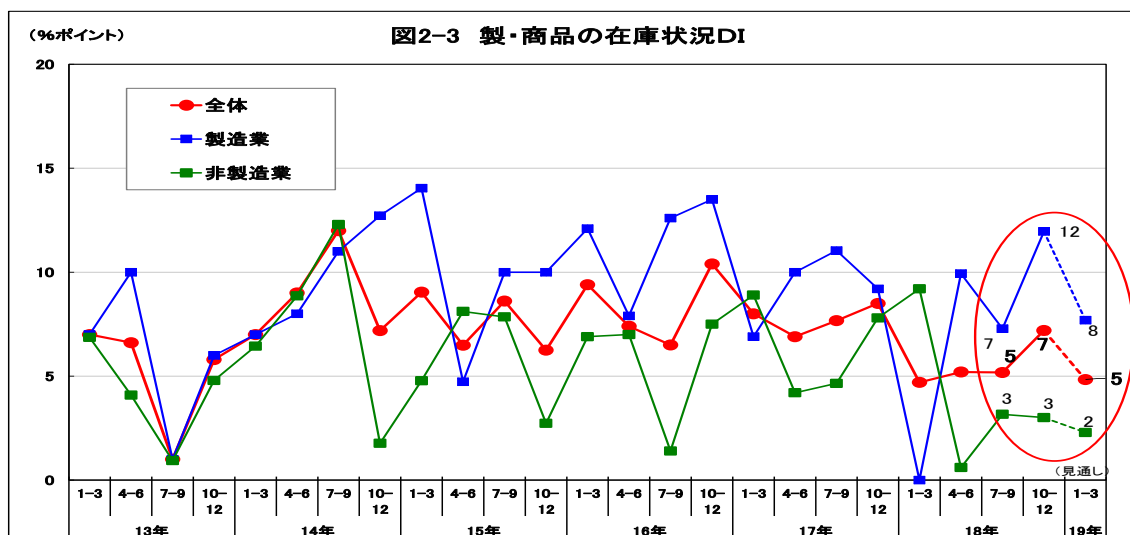


(3) 製・商品の在庫状況DI…2ポイント上昇(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI(「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は+7で、前回(+5)から2ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は5ポイント上昇(+7→+12)した。木材・木製品(-17→+50)、金属製品(+10→+24)などで過大感が強まり、食料品(+13→-10)、輸送用機械(+50→+20)などで弱まった。非製造業は同水準(+3→+3)となった。小売(+5→+19)、運輸・通信(-8→+22)などで過大感が強まった。

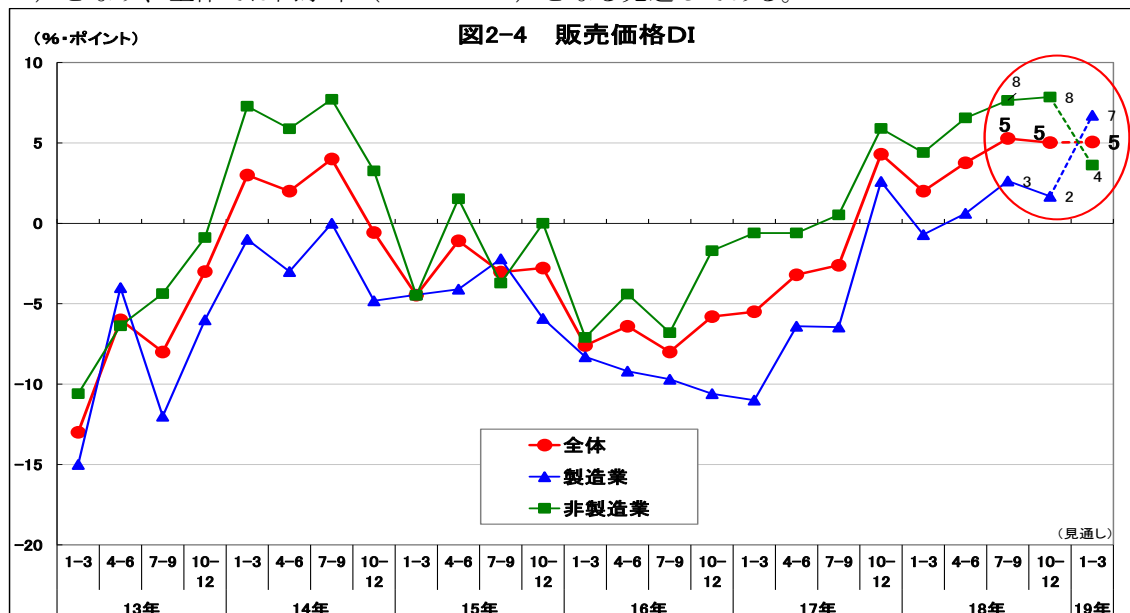
3カ月後は、製造業は4ポイント低下(+12→+8)、非製造業は1ポイント低下(+3→+2)し、全体では2ポイント低下(+7→+5)する見通しである。



(4) 販売価格DI…前回と同水準で、5四半期連続でプラス水準(図2-4)

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+5で、前回(+5)と同水準となり、5四半期連続でプラス水準を維持した。業種別にみると、製造業は1ポイント低下(+3→+2)した。木材・木製品(0→+25)、化学(-13→+13)、輸送用機械(-13→+20)などが上昇し、その他の製造業(+9→-16)などが低下した。非製造業は同水準(+8→+8)となった。卸売(+11→+24)、運輸・通信(0→+13)などは上昇し、不動産(+18→+11)などが低下した。

3カ月後は、製造業が5ポイント上昇(+2→+7)、非製造業は4ポイント低下(+8→+4)となり、全体では同水準(+5→+5)となる見通しである。

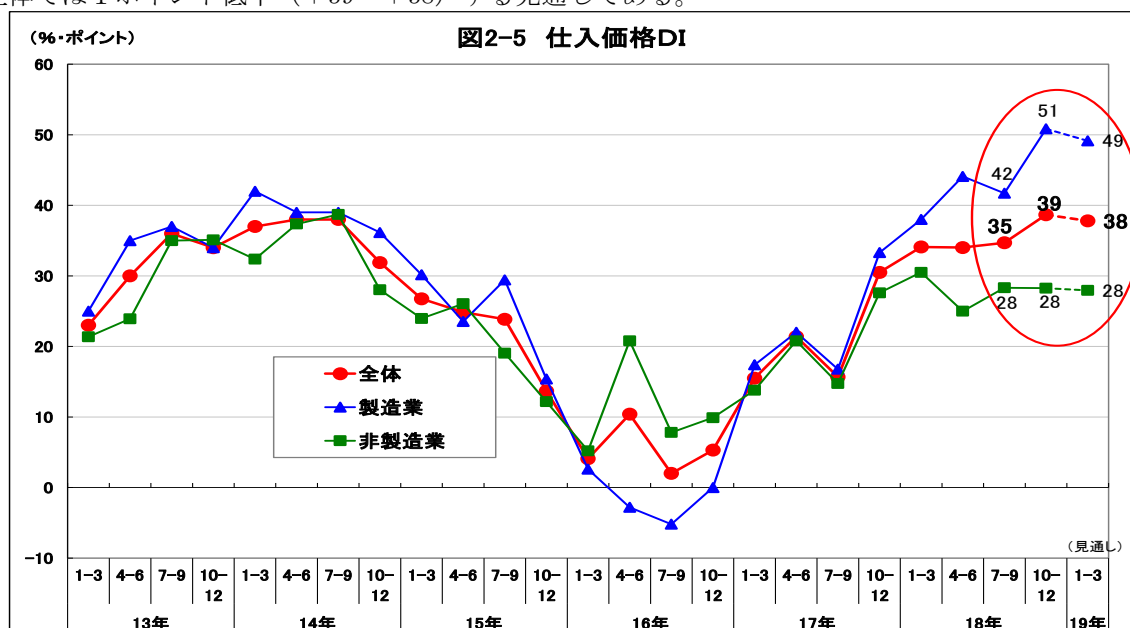


(5) 仕入価格DI…4ポイント上昇(図2-5)

現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+39で、前回(+35)から4ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は9ポイント上昇(+42→+51)した。繊維(+47→+79)、食料品(+31→+50)、電気機械(+20→+50)などが上昇、精密機械(+50→+33)などは低下した。非製造業は同水準(+28→+28)となった。建設(+17→+29)、運輸・通信(+50→+63)などが上昇、不動産(+50→+22)などは低下した。

3カ月後は、製造業は2ポイント低下(+51→+49)、非製造業は同水準(+28→+28)、全体では1ポイント低下(+39→+38)する見通しである。

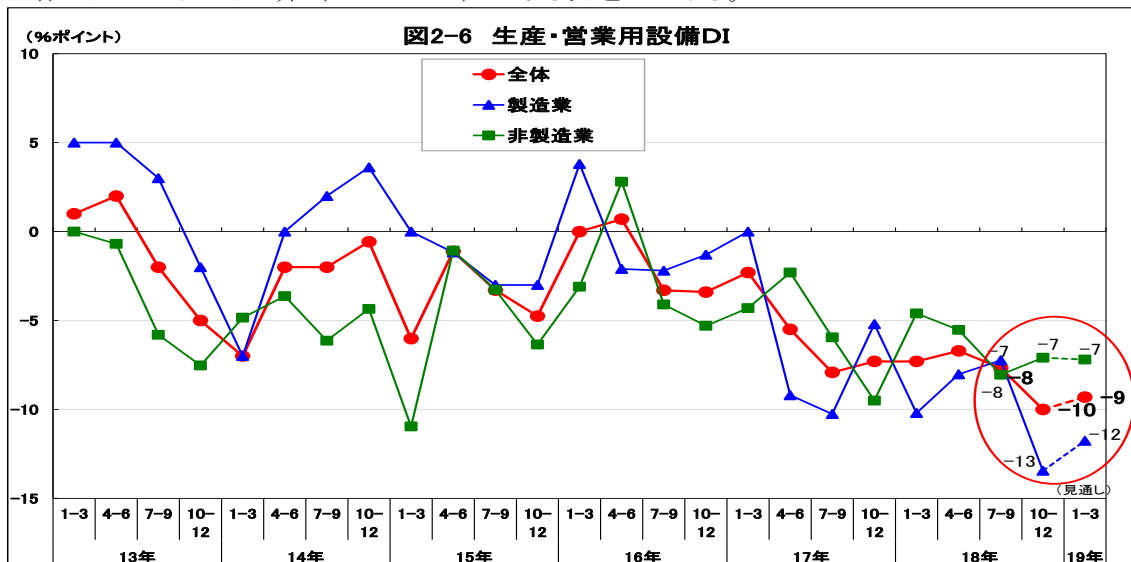


(6) 生産・営業用設備DI…10 四半期連続でマイナス水準(図2-6)

現在の生産・営業用設備DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は、前回(-8)から2ポイント低下の-10で、10 四半期連続マイナス水準になった。

業種別にみると、製造業は6ポイント低下(-7→-13)した。化学(-50→-25)は不足感が低下するも、木材・木製品(0→-25)、食料品(-6→-30)などは不足感が拡大した。非製造業は1ポイント上昇(-8→-7)した。小売(-9→-19)、運輸・通信(+7→-10)などは不足感が強まり、卸売(-9→0)は不足感が弱まった。

3カ月後は、製造業は1ポイント上昇(-13→-12)、非製造業は同水準(-7→-7)、全体では1ポイント上昇(-10→-9)となる見通しである。

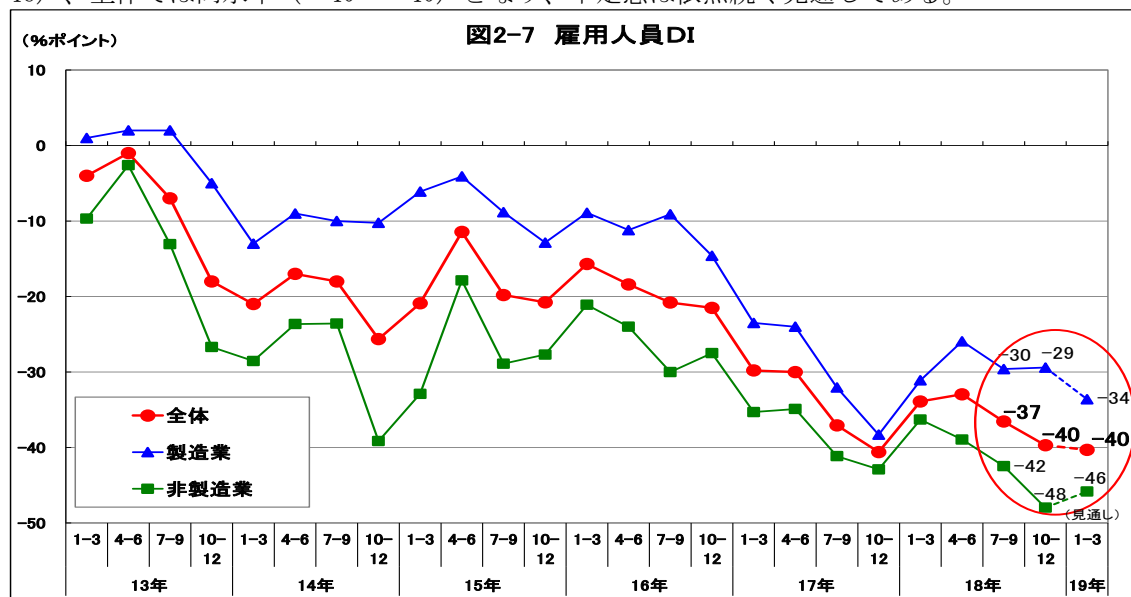


(7) 雇用人員DI…不足感拡大、26 四半期連続のマイナス水準(図2-7)

現在の雇用人員DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-40と前回の-37から3ポイントマイナス幅が拡大し「不足感」がさらに強まった。12年7-9月期から26 四半期連続でマイナス水準(人手不足)の状況が続いている。

業種別にみると、製造業は1ポイント上昇(-30→-29)した。食料品(-19→-60)、電気機械(-30→-50)、精密機械(-50→-75)などは不足感が強まり、化学(-38→-13)、金属製品(-40→-22)などは不足感が弱まった。非製造業は6ポイント低下(-42→-48)した。建設(-45→-63)、運輸・通信(-29→-45)などは不足感が強まり、その他の非製造業(-33→-11)などは不足感が弱まった。

3カ月後は、製造業は5ポイント低下(-29→-34)、非製造業は2ポイント上昇(-48→-46)、全体では同水準(-40→-40)となり、不足感は依然続く見通しである。



3. 設備投資の実施状況

(1)設備投資の実施割合…50%に上昇(図3-1、表2)

今期(10-12月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は50%だった。前回(7-9月期)より2ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は55%で、前回(52%)より3ポイント上昇した。化学(63%→88%)、木材・木製品(0%→25%)、輸送用機械(75%→100%)、精密機械(0%→25%)などが上昇した。繊維(35%→21%)、電気機械(70%→50%)などが低下した。非製造業は46%で(前回44%)より2ポイント上昇した。小売(32%→48%)、その他の非製造業(44%→56%)などが上昇し、建設(43%→37%)、サービス(52%→48%)などは低下した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が51%、非製造業が39%で全体では45%と、やや低下する見通しである

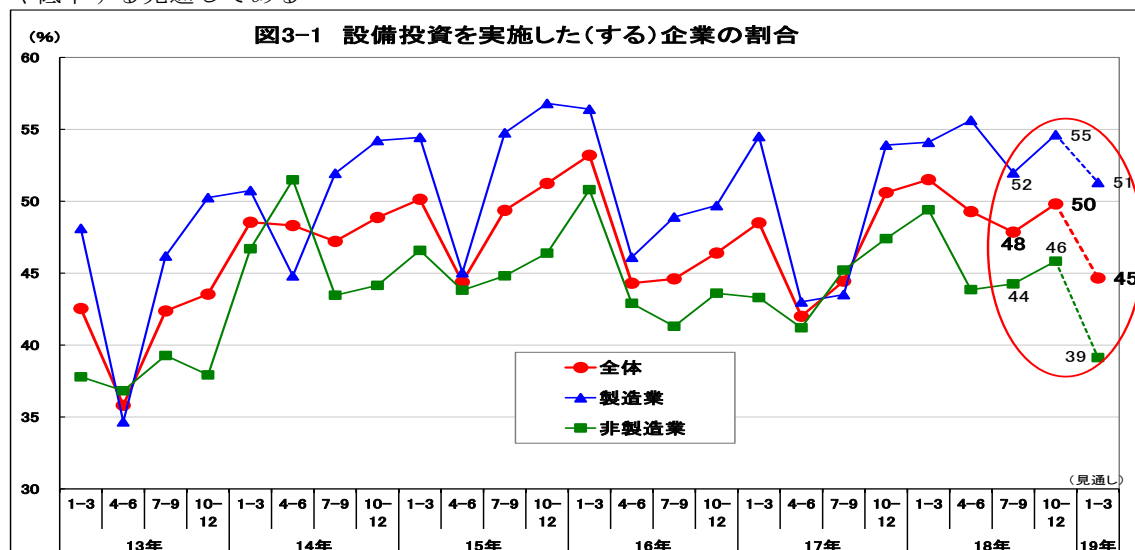


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

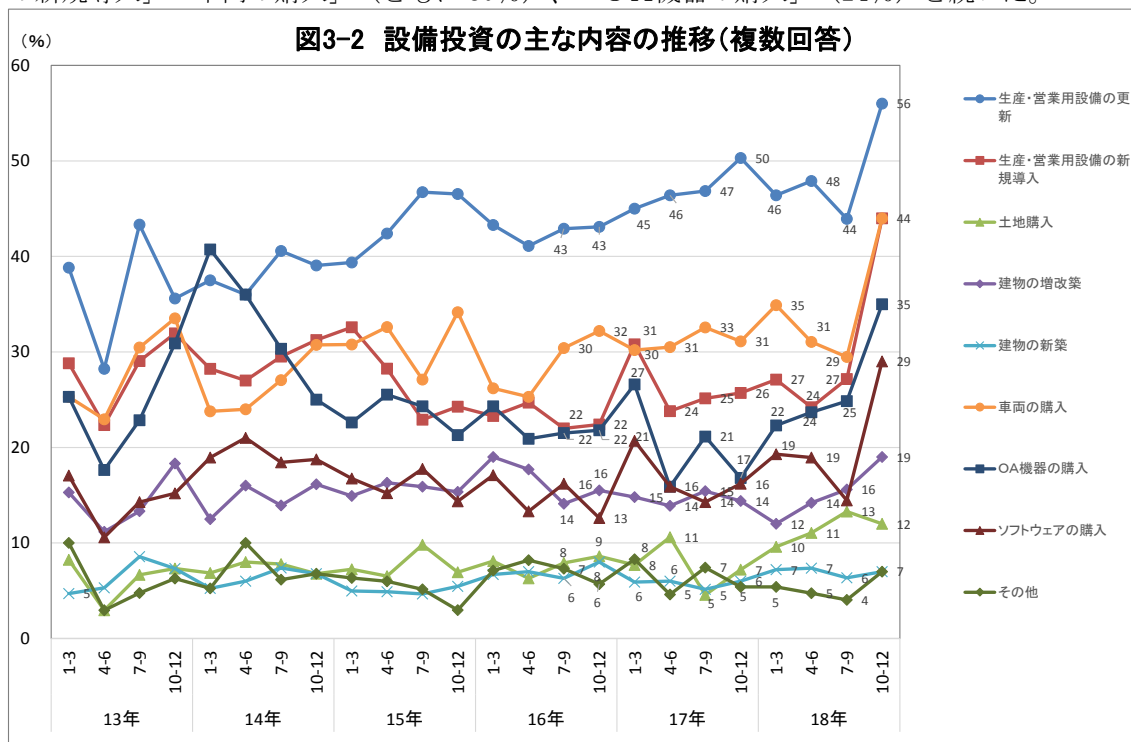
業種(※)	18年 7-9月期 前回	18年 10-12月期 今回	19年 1-3月期 見通し
全体	48	50	45
製造業	52	55	51
繊維	35	21	38
木材・木製品	0	25	67
紙・パルプ	×	×	×
化学	63	88	63
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	75	100	100
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	44	60	40
金属製品	50	50	61
一般機械	53	54	54
電気機械	70	50	38
輸送用機械	75	100	100
精密機械	0	25	0
その他の製造業	53	48	38
非製造業	44	46	39
建設	43	37	33
不動産	45	44	17
卸売	46	52	50
小売	32	48	33
運輸・通信	46	45	36
電気・ガス	×	×	×
サービス	52	48	46
リース	×	×	×
その他の非製造業	44	56	56

(※)回答数が3社以下の業種は非表示

(2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が19四半期連続のトップ

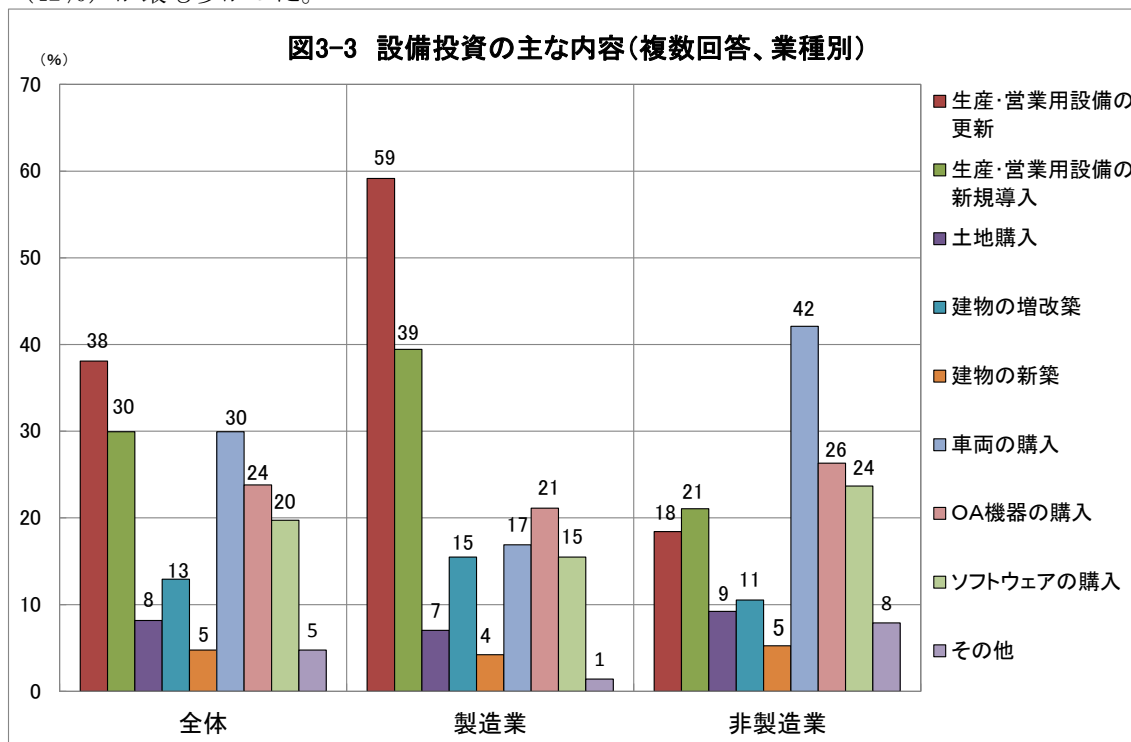
1. 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容を見ると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(38%)が19四半期連続で最も多かった。次いで「生産・営業用設備の新規導入」「車両の購入」(ともに30%)、「OA機器の購入」(24%)と続いた。



2. 業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(59%)、非製造業は「車両の購入」(42%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
繊維	<ul style="list-style-type: none"> ・安定して利益を出せている。 ・一時期停滞していた売上が戻ってきた。前期に先を見越して多注文していた会社の在庫がなくなりつつある。
一般機械	<ul style="list-style-type: none"> ・売上10%増加。 ・環境対応型の新製品の需要が本格化してきた。
電気機械	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年オリンピック需要による得意先の売上増で10%増加。
輸送用機械	<ul style="list-style-type: none"> ・主要顧客層のスキー場事業者は長期に亘り業績不芳で投資マインド低いが、掘り起こし営業で保守需要開拓が奏功。 ・価格変更影響により売上が21%増加した。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	<ul style="list-style-type: none"> ・原料価格の上昇、受注減少。 ・需要家の生産減のため、出荷が減少。
食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・台風、豪雨、地震の影響で被災地域の売上が減少している。 ・既存製品の売上低迷。 ・台風21号の影響で倉庫作業場が全壊し、復旧に費用がかかるため。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が前年同期比約10%減少。 ・昨年まで継続していた対英国向け及び中国向け製品が減少した。しばらくこの傾向が続くと考えている。対中貿易、EU離脱他の影響。
電気機械	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出向けの売上減少。
その他の製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱ペットボトルの需要減少。 ・台風、地震などの影響。

【非製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・案件の引合いが良くなってきた。 ・前年比売上23%増、自動車関連企業の設備投資が堅調。 ・受注が多い。 ・受注高の増加。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響で特需が発生しているが、11月でおおよそ落ち着きをとりもどしそうである。 ・得意先の大口注文があった。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の設備投資に動きがあるように感じられる。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客増により売上が5%増加。 ・昨対比売上5%アップ、展示会売上アップ。
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・物流は依然好調、荷動き活発。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> ・台風等の影響により工事が中止となり売上が減少した。 ・取引先の設備投資予算の減少により売上減少。
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・完成物件が少ない（宅地）。
卸売	<ul style="list-style-type: none"> ・原油市場が不透明なため。 ・ここにきて気候が安定し、売上也回復してきたが、酷暑、台風の影響が尾を引いている。
小売	<ul style="list-style-type: none"> ・7～9月台風、地震、豪雨による影響大、売上がこの3ヶ月で10%減少。 ・原油価格の乱高下によりガソリンの消費が減少している。 ・競合他社の増加の影響で売上高が昨年比△5%程度の状況が続いている。 ・仕入価格の上昇により粗利悪化（ガソリンスタンド）、リフォーム部門の受注は前年並みであるが利益率の低下。 ・モノ消費からコト消費へ変動しているため、時計の売上が減少。 ・暖冬との予報で冬の商品が昨年と比べて動きが悪い。 ・顧客数の減少と気温の影響で一般向けのガス消費量が減少する見込み。
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度上半期は車両の修繕費が増加、また軽油の値上りが続き、一年前より、リッターあたり20円上昇した。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・忘新年会の予約が年々低価格化し、低調気味。 ・台風災害。 ・天候不順、人件費増加。 ・少子化の影響で販売写真の売上が5%減少した。 ・車両売上の減少、経費の増加。 ・当社は企業内給食業を営んでいるため、当該事業所勤務の従業員数、出入業者の人数他時間労働の増減が売上に影響。

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	9	14	-1	1	8	5	0	-1	35	35	39	38	5	7	5	5
製造業	11	14	3	-1	7	5	-2	-3	42	43	51	49	3	4	2	7
繊維	-38	-25	-38	-15	-24	-18	-57	-29	47	59	79	71	6	6	14	14
木材・木製品	17	33	-50	-50	0	-17	25	-50	50	50	50	0	0	17	25	25
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	38	-25	13	13	38	-13	13	-13	50	50	50	63	-13	13	13	0
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	13	43	0	20	13	29	-20	0	38	43	40	40	13	0	20	20
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-31	-13	-30	-30	-44	-19	-50	-10	31	31	50	60	6	6	10	-10
金属製品	20	16	11	11	-10	-21	6	6	45	42	56	61	15	11	6	22
一般機械	13	20	67	25	14	29	54	23	47	47	62	46	-27	-7	-15	8
電気機械	30	10	13	13	0	10	0	-25	20	40	50	38	-10	0	0	-13
輸送用機械	-13	38	40	40	25	25	0	60	50	50	60	60	-13	-13	20	0
精密機械	50	25	0	-25	25	0	-25	-50	50	50	33	33	0	0	0	-50
その他の製造業	22	31	0	-4	22	22	4	0	32	26	24	28	9	3	-16	4
非製造業	8	14	-5	3	8	6	1	1	28	27	28	28	8	10	8	4
建設	21	27	2	8	17	-4	2	0	17	16	29	41	-2	0	-3	3
不動産	18	18	0	-10	0	18	-10	-10	50	40	22	22	18	0	11	11
卸売	-3	3	0	14	-3	6	14	24	46	35	48	29	11	24	24	5
小売	-23	-18	-31	-19	9	5	-19	-8	32	41	23	19	23	27	19	4
運輸・通信	0	36	40	55	-7	29	45	36	50	60	63	38	0	10	13	0
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	11	15	-21	-22	11	9	0	-11	14	14	22	27	6	3	0	4
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	33	22	33	44	22	0	0	-11	13	13	0	0	13	0	13	0

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年	18年	18年	18年	19年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	0	-2	-8	-8	5	4	7	5	-8	-10	-10	-9	-37	-38	-40	-40
製造業	-1	-3	-2	-10	7	3	12	8	-7	-9	-13	-12	-30	-32	-29	-34
繊維	-47	-29	-43	-29	24	12	29	14	6	6	0	0	-12	-12	-14	-7
木材・木製品	50	-17	0	-50	-17	0	50	25	0	0	-25	-25	-50	-33	-50	-50
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	50	0	25	-13	-50	-13	-13	-13	-50	-50	-25	-25	-38	-38	-13	-25
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-38	-14	-60	-40	0	-14	0	0	0	14	0	0	0	0	0	-20
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-19	-6	-30	-20	13	0	-10	0	-6	0	-30	-20	-19	-50	-60	-50
金属製品	-5	0	28	6	10	0	24	6	0	-5	0	-6	-40	-42	-22	-33
一般機械	14	14	31	15	27	13	15	15	0	0	-15	-8	-27	-20	-38	-31
電気機械	-30	-20	13	-25	10	10	25	13	-10	-20	-25	-13	-30	-20	-50	-63
輸送用機械	25	13	-20	20	50	25	20	40	-50	-63	-60	-60	-63	-63	-60	-80
精密機械	25	-25	0	-25	0	0	0	0	-25	-25	-25	-25	-50	-50	-75	-50
その他の製造業	16	19	-8	0	-3	-3	0	8	3	-3	-8	-8	-28	-25	-12	-20
非製造業	0	-1	-13	-6	3	4	3	2	-8	-10	-7	-7	-42	-43	-48	-46
建設	4	-10	-20	-10	-3	0	-6	-6	-8	-6	-3	-3	-45	-49	-63	-60
不動産	0	9	0	0	-9	0	-22	-33	0	0	0	0	-27	-18	-30	-20
卸売	-11	-6	5	19	32	27	33	24	-9	-9	0	5	-26	-29	-33	-38
小売	-9	-5	-23	-15	5	9	19	12	-9	-14	-19	-19	-59	-64	-54	-54
運輸・通信	21	43	9	18	-8	0	22	22	7	0	-10	-10	-29	-21	-45	-36
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	-3	0	-17	-14	-16	-10	-19	-12	-18	-21	-7	-8	-57	-57	-52	-50
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	22	0	-11	-22	13	-13	-14	14	0	-13	-11	-22	-33	-22	-11	-11

※回答数が3社以下の業種は非表示(Xと表示)